〈令和８年度　インターンシップ参加学生へ質問〉

○自己紹介をお願いします。

長崎県立大学経営学部３年の松澤正弥です。私は、公務員の市役所職員という仕事に興味があって、今回のインターンシップに参加させていただきました。

○インターンシップのきっかけはなんですか？

私は、民間と公務員どちらを目指すか悩んでいる時に、公務員のインターンシップの案内を見つけたことがきっかけです。その中でも、様々な分野の業務を体験出来るプログラムを用意していた雲仙市役所に行ってみたいと思い、今回のインターンシップに応募させていただきました。

○インターンシップの内容はどのようなものでしたか？

市役所の窓口業務や図書館の司書としての仕事、子どもの遊び・学びの場いこいこでの業務補助を体験させていただきました。

１日目	午前	オリエンテーション
	午後	雲仙市内の視察
２日目	午前	愛野図書室での業務補助
	午後	愛野総合支所での窓口業務補助
３日目	午前	雲仙図書館の業務補助
	午後	雲仙図書館の業務補助
４日目	午前	雲仙市子どもの遊び・学びの場いこいこの業務補助
	午後	雲仙市子どもの遊び・学びの場いこいこの業務補助
５日目	午前	ホームページ・ブログ・研修報告書の作成
	午後	ホームページ・ブログ・研修報告書の作成

○どのような体験をしましたか？

たくさんの分野での業務を通して、公務員という仕事のやりがいやどのような思いで働いているのか、とても良く学ぶことが出来る体験でした。窓口業務では、色々な悩みごとを相談しに来る市民の方に職員が丁寧に対応し、そこに私も同席して一緒に話を伺うことで、責任を持ちながら仕事の体験を行えました。図書館・いこいこの業務でも人々が雲仙市での暮らしをより快適に過ごせるよう一生懸命考えて、働いている職員の姿を見ながら業務の体験が出来ました。

○インターンシップを通して学んだことはなんですか？

今回のインターンシップから、市役所や公共施設の重要性とそこで働いている職員の業務について、詳しく学ぶことが出来ました。どの職場でも忙しい中、私に色々な業務について教えてくれて、就活のアドバイスや私生活の悩みまでも、一緒に考えてもらい、職員の優しさを感じました。職員の方々が日々頑張ってくれているから、私たちの暮らしが成り立っているし、将来このような職場で働くことが出来るよう就職活動をより気を引き締めて行っていきたいです。5日間の体験で、公務員の市役所職員という仕事の業界研究を深めることが出来たインターンシップでした。